

I. 公益財団法人仙台観光国際協会 令和6年度事業報告

令和6年度は、観光庁の「登録DMO」の登録を受け、交流人口の拡大に向けて、地域事業者等と連携しながら、市内西部・中心部・東部のエリアごとの観光地域づくりに取り組んだ。また、観光客の動向調査などデジタルマーケティングを積極的に活用しながら効果的なプロモーションを実施するとともに、海外旅行博への出展や「東北絆まつり 2024 仙台」等における物産品販売、体験プログラムのイベント開催等を通して、誘客促進を図った。

コンベンション推進については、各種助成や支援を継続して行うとともに、観光庁からの補助金を活用しながら、MICE 誘致の国際競争力強化に向けて海外商談会へ参加したほか、各施設と連携した魅力向上実証事業を実施した。外国人住民に対しては、日本語学習や生活オリエンテーション等の事業を通して、生活に必要な情報を提供するとともに、多文化共生センターにおいて多言語による相談対応や専門機関との連携による相談会を行った。

[公益目的事業]

1. 観光振興に関する事業

国内および海外からの観光客の動向については堅調に推移してきたものの、海外からの誘客については、全国水準と比較すると依然として低い状況にある。そのような状況の中、海外プロモーションではタイにおける仙台市のトップセールスや招請事業をはじめ、台湾・タイの各旅行博への現地出展及びセールス活動を強化するとともに、事業者支援やインバウンド向け商品の販売体制の整備に取り組んだ。また、国内プロモーションにおいては、札幌、大阪等における就航都市プロモーションや教育旅行誘致ツールの開発など、観光誘客に繋がる施策を積極的に展開した。

(1) 海外プロモーション事業

行政及び民間事業者等と連携し、アジア地域等からの訪日外国人観光客の誘致拡大を図った。

① 誘致事業

台湾やタイ等からの個人旅行やインセンティブツアー誘致拡大並びに観光目的地としての仙台の認知度向上及び仙台を訪問先とする旅行商品の更なる造成を目的とし、相手国の旅行博への出展、旅行エージェントへのセールス、関係者の招請等誘致 PR 事業を実施した。

i. 台湾、タイにおける観光客誘致プロモーションの実施

ア 台湾、タイでの旅行博への出展

- ・大台南国際旅展 2024 (TTF) (令和6年11月15日(金)～18日(月))
- ・第30回タイ国際旅行博 (TITF) (令和7年1月16日(木)～19日(日))

イ タイから東北への定期便利用促進プロモーション

東北観光推進機構と連携し、旅行博への出展のほか、現地旅行会社やインフルエンサーの招請等により情報発信を行った。

・旅行会社招請

夏季：令和6年6月28日(金)～7月2日(火)(うち、29日(土)に仙台へ招請)

冬季：令和7年2月4日(火)～8日(土)(うち7日(金)に仙台へ招請)

・インフルエンサー招請

令和6年11月4日(月)～8日(金)(うち、7日(木)・8日(金)に仙台へ招請)

ウ 仙台市主催プロモーションイベントへの参加

- ・タイトップセールスへの参加（令和 6 年 10 月 29 日（火）～11 月 1 日（金））
仙台市主催のトップセールスにおいて、PR イベントや商談会、セールスコールに参加した。

エ 現地旅行会社エージェントセールス

- ・台湾エージェントセールス（令和 6 年 11 月 18 日（月）訪問数：4 社）
台北市において、独自に旅行会社エージェントセールスを実施した。

ii. 旅行関係者の招請

- ・タイ旅行関係者の招請（令和 6 年 10 月 21 日（月）～25 日（金））
タイ旅行業協会（TTAA）の役員及び仙台や東北への商品造成に意欲的な旅行会社の社長を招請し、仙台市及び近隣県市町村の観光施設の視察及び意見交換を行った。

iii. インセンティブツアーの支援

- ・大台南国際旅展 2024 商談会（令和 6 年 11 月 14 日（木）商談件数：14 社）
- ・タイ国際旅行博商談会「TITF Business Matching2025」（令和 7 年 1 月 15 日（水）商談件数：21 社）

iv. 台湾アウトバウンドの強化

台湾向けアウトバウンドの機運醸成を図るため、若年層をメインターゲットとした市民向けイベントを実施した。（令和 7 年 2 月 11 日（火・祝）エルパーク仙台）

【第一部】 台湾セミナー・台南に関するクロストーク 参加者：127 名

【第二部】 豆花作りワークショップ 参加者：25 名

v. 仙台的祭りを活用したインバウンドの推進

大台南国際旅行展 2024, 第 30 回タイ国際旅行博（TITF）, 商談会, 旅行会社セールスにおいて、仙台的祭りコンテンツを PR するとともに、仙台青葉まつり有料棧敷席販売の提案や東北夏祭り期間の周遊観光などの提案を行った。

② 受入整備事業

インバウンドの受入体制を強化するため、関係機関等と連携し、仙台を訪れる外国人観光客等が仙台に滞在中、快適に過ごせるよう受入環境の整備を図った。

i. インバウンドセミナーの開催

観光関連事業者に対し、外国人観光客の受入環境整備を図ることを目的に、インバウンド顧客に対する接客力、集客力アップにつながるセミナー・実践ワークショップを開催した。

ア 外国人観光客対応力向上セミナー＆ワークショップ（接客編）

開催日：令和 6 年 10 月 7 日（月）、会場：仙台市中小企業活性化センター、参加者：34 名

イ 外国人観光客対応力向上セミナー＆公開型コンサル（集客編）

開催日：令和 7 年 1 月 27 日（月）、会場：仙台観光国際協会、参加者：15 名

※まちくる仙台と共催にて実施

ii. インバウンド対応力向上に向けた事業者支援

インバウンドの本格的な回復期に対応すべく、リピーターの訪日外国人観光客に需要の高い「いちご狩り」を主とする市内観光農園 3 社及び秋保・作並の両温泉旅館組合を対象に、受入環境整備、集客やコンテンツ販売促進に向けた支援を行った。

ア 現状調査及び課題の洗い出し

- ・スタッフ向けアンケート及び管理職、経営層向けヒアリングの実施
- ・委託事業者（台湾人スタッフ）による現地調査

イ 外国人（香港）インフルエンサーによるモニターツアー

- ・第1回 令和6年11月28日（木）～30日（土）、香港人インスタグラマー
- ・第2回 令和7年1月22日（水）～24日（金）、香港人 YouTuber

ウ インバウンド対応ツール作成

- ・インバウンド向け苺の摘み取り方動画及びスタッフ向け多言語あいさつ紹介ツールの制作
- ・インバウンド向け予約受付フォーマットの作成及び多言語化支援
- ・温泉の入り方ポスターの制作

エ Web サイトや Instagram 等での情報発信

- ・インバウンド向け仙台市情報発信サイト「Discover SENDAI」へのいちご狩り特集ページの制作
- ・外国人（香港）インフルエンサーによる情報発信
- ・台湾旅行博「東北遊楽日(令和6年12月7日（土）～8日（日））」での仙台のいちご狩り PR チラシ兼割引チケットの配布

iii. インバウンド向け着地型旅行商品販売体制の構築

インバウンド向け体験型観光コンテンツや着地型旅行商品を有する仙台市内及び近郊の観光関連事業者の商品販売の自走化、及び販路拡大、継続的な販売体制の構築に向けた支援を行った。

ア セミナー・ワークショップ・商談会

- ・インバウンド・OTA 向け魅力の伝わる写真・動画の作り方講座（令和6年9月17日（火）参加者：21名）
- ・ガイドが主役 観光ガイド×旅行会社 ビジネス交流会（令和7年2月4日（火）参加者：23名）

イ 体験特化型 OTA への掲載支援

「仙台旅先体験コレクション」を主とした既存の体験型観光コンテンツ事業者及びインバウンド受入に積極的な事業者に対し、コンテンツの整備やインバウンド向け体験特化型 OTA への商品登録・掲載に係る支援を行った。

掲載数：10 事業者 24 プラン/PV 数：5,439/予約件数：20 件(42 人、うち外国人 16 人)

※集計期間：令和6年8月1日（木）～令和7年3月25日（火）

ウ 旅マエ・旅ナカでの販促

新規登録されたプランを中心に、QR から商品掲載ページに繋がる旅マエ・旅ナカ販促リーフレットを作成し、配布を行った。

配布場所：大台南国際旅展 2024(TTF)【再掲】/日本東北遊楽日【再掲】/第30回タイ国際旅行博（TITF）【再掲】/AZLM TOBU 池袋店(令和7年1月中旬～2月下旬)/変なホテル仙台(令和7年2月1日（土）～3月3日（月）)

エ 特集ページの更新

体験特化型 OTA「アクティビティジャパン」の公式 WEB サイトにて、令和5年度に作成した仙台の体験型観光コンテンツを集約した特集ページを、今年度新規登録事業者の商品を追加掲載し更新を行った。

(2) 国内プロモーション事業

仙台を訪れる国内観光客の一層の拡大を図るため、関係機関等と連携し、各種事業を実施した。

① 観光行事等開催支援事業

地域観光行事等に対し協賛負担金を拠出し、観光振興の促進を図った。

i. 祭り・イベント開催の支援

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェント等の実行委員会と連携し、お祭り・イベントの開催支援を行った。また、「東北絆まつり 2024 仙台」の開催に際して実行委員会に参画した。

② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、かつ仙台の認知度向上につながる観光関連企画や国内就航都市において誘致プロモーションを開催し、仙台の魅力づくりと誘客促進を図った。

i. 就航都市等における観光客誘致プロモーションの実施

観光客の誘客促進を図るため、仙台市と連携して国内就航都市である札幌、大阪での現地セールスや観光物産展を開催し、仙台の観光プロモーション及び物産品の販売等を行った。

- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（札幌）（令和 6 年 6 月 20 日（木）～22 日（土））
- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（大阪）（令和 6 年 7 月 5 日（金）～7 日（日））
- ・大阪「梅田七夕」と連携した七夕プロモーション（上記同日開催）

ii. 旅行商品の造成支援

旅行会社が造成する旅行商品が掲載されたパンフレットに対し、仙台の観光情報等の掲載を条件として、その作成費用の一部を助成した。（6 件 計 80 万円）

iii. 東北等近県における観光客誘致プロモーション（マイクロツーリズム推進事業）の実施

東北等近県からの誘客促進を図るため、仙台市で開催された「東北絆まつり 2024」にブース出展し、仙台の観光プロモーションを行ったほか、東京でのポップアップイベントの開催や JR 盛岡駅での仙台青葉まつりを紹介する観光 PR イベントを実施した。

- ・東北絆まつり 2024（令和 6 年 6 月 8 日（土）～9 日（日）大町西公園、青葉山公園他（仙台市））
- ・仙台・山形観光物産展（令和 6 年 11 月 16 日（土）～18 日（月））KITTE（東京都千代田区）
- ・仙台観光フェア in 盛岡駅（令和 7 年 2 月 22 日（土）～23 日（日・祝）JR 盛岡駅構内他（盛岡市））

iv. 仙台七夕まつり等祭り・イベントへの参画

仙台市内で開催される「仙台七夕まつり」等の祭りや様々なイベントを活用し、仙台の観光スポットや食、体験プログラム等、仙台の魅力を PR した。

v. プロスポーツを活用した誘客促進及び情報発信

楽天マイチーム協議会への参画のほか、スポーツコミッション仙台と連携し、第 18 回全国学生剣道オープン大会において、中心部商店街と連携し、「仙台まちなかクーポン」を参加者に配布した。

vi. 観光誘致セールスの実施

首都圏旅行会社への誘致セールスを実施したほか、「なかの東北絆まつり 2024」に出展し、観光プロモーションを実施した。

- ・首都圏旅行会社誘致セールス（令和 7 年 1 月 29 日（水）旅行会社 6 社訪問）
- ・なかの東北絆まつり 2024（令和 6 年 10 月 26 日（土）～27 日（日）中野四季の森公園（東京都中野区））
- ・首都圏教育旅行セールス（令和 7 年 2 月 28 日（金）埼玉県内中学校 2 校、旅行会社 3 社訪問）

③ 教育旅行受入促進事業

教育旅行に対応できる仙台市内の宿泊施設や文化・観光施設等と連携し、本市への教育旅行に関する問合せ等に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、他県の旅行会社や学校に対して、地方自治体や民間企業等と連携し、セールス活動や現地説明会等を実施した。

i. 修学旅行誘致キャンペーンの実施

ア 仙台市、宮城県、伊達な広域観光推進協議会等と連携した北海道での現地プロモーション及び中学校教育旅行の誘致

【セミナー・商談会】（令和6年11月20日（水）ホテルマイステイズ札幌アспен）

参加者（北海道側）：24団体29名（中学校11校11名、旅行会社13社18名）

参加者（県内側）：16団体19名（自治体・観光協会等6団体9名、施設・民間10団体10名）

【セールス】（令和6年11月19日（火）～22日（金））

セールス先：27か所（函館市、札幌市、苫小牧市ほか）（旅行会社7社、中学校20校）

イ 東北観光推進機構「教育旅行誘致部会」が実施する事業と連携した情報発信、東北教育旅行セミナー出席及び誘致セールスの実施

【名古屋セミナー】令和6年10月2日（水）（旅行会社6社17名、東北側出席者28団体28名）

【誘致セールス】令和6年10月3日（木）～4日（金）

セールス先：8か所（名古屋市、浜松市ほか）（旅行会社4社、高校1校、自治体3団体）

ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携した関東、中部、関西等から教育旅行の誘致

【東京教育旅行セールス】令和6年7月3日（水）～4日（木）

【東京・神奈川教育旅行セールス】令和6年10月24日（木）～25日（金）

【伊達な学び旅モニターツアーアテンド】令和6年12月27日（金）（関東地区を中心に学校関係者13名）

※その他、令和7年2月28日（金）にモニターツアーに参加した埼玉県の中学校、旅行会社への誘致セールスを実施。（旅行会社3社、中学校2校）

エ 教育旅行受け入れ媒体及び資料等の作成・整備

仙台市内中心部で自主研修や事前学習、教育旅行の計画を行う児童・生徒向けのガイドブックや資料等を作成したほか、一部の資料をWEB化した。

・仙台自主研修ガイド（発行部数：22千部）

・教育旅行ガイドブック「せんだい未知知るべ」（発行部数：6千部）

・テーマ別、学習スポット「仙台見聞録」のデータ更新

④ 観光客受入整備事業

体験プログラムの認知度向上・利用拡大に向けた取組みの強化、及び増加傾向にあるインバウンドに対応するプログラム創出や受入環境への支援を実施したほか、「観光ボランティアガイド」を支援するなど観光客の受入体制の整備を進めた。また、東北観光推進機構、仙台まるごとパス運営協議会等の組織と連携を図り、宿泊施設団体と宿泊客増大に向けて緊密に情報交換を行った。

i. 体験プログラムの推進【重点】

体験プログラムの認知度を向上させ利用拡大を図るため、県内外の観光客に向けた体験ワークショップイベントの開催、SNS等によるプログラムの情報発信、利用促進を目的とした事業者対象の研修会を実施した。

ア プログラムの認知度向上・利用拡大に向けた「仙台旅先体験コレクションフェスティバル 2024」の開催

体験プログラムを楽しめる「仙台旅先体験コレクションフェスティバル 2024」を開催し、各種まつりや観光施設等と連携し、年間を通じてのイベント開催やプロモーションを強化することで、体験プログラムの認知度向上と利用拡大、観光消費額の増加を図った。

【仙台旅先体験コレクションフェスティバル in 東北絆まつり 2024 仙台】

期間：令和6年6月8日（土）～6月9日（日）

内容：東北絆まつり 2024 仙台の青葉山会場にて、WEB サイト「仙台旅先体験コレクション」の登録事業者6社を主催者側が選定し出店。体験ワークショップを提供し、観光客に向けた体験プログラムの認知度向上を図った。ワークショップ参加者：796名。

【仙台旅先体験コレクションフェスティバル 2024～秋博～】

期間：令和6年9月28日（土）～29日（日）

内容：体験プログラムの認知度向上・プログラムの利用拡大を図るため、ぶらんど～む一番町商店街で体験イベントを実施した。

出店事業者数：延べ38事業者

体験者数：令和6年9月28日（土）408名、29日（日）366名、計774名

PR利用者数：令和6年9月28日（土）645名、29日（日）520名、計1,165名

【仙台旅先体験コレクションフェスティバル 2024～冬博～】

期間：令和6年12月14日（土）

内容：体験プログラムの認知度向上・プログラムの利用拡大、冬期のコンテンツ開発を図るほか、青葉山エリアのさらなる魅力の創出、人流増加を促すことを目的とし、緑彩館で実施した。体験者数：499名、物品購入者数：55名

【仙台旅先体験コレクション in 駅たびコンシェルジュ仙台】

期間：令和6年5月～6月、9月～11月、令和7年1月（各月週1回（土日））、及び8月6日～8日（七夕期間） 計15回

内容：仙台駅構内「駅たびコンシェルジュ仙台」において、JR仙台駅を利用する来仙客及び仙台市民向けに7事業者がワークショップを開催した。参加者：586名。

イ 地域の特色を生かしたプログラムの創出とプロモーション

各種体験プログラムの造成支援と旅コレサイト内でのプロモーションを継続して実施した。

- ・市中心部：仙台七夕まつりや伊達文化に関わるプログラム
（七夕和紙紋切体験、伊達なまちあるきツアー）
- ・市西部：自然に触れるアクティビティや手仕事を体験できるプログラム
（森林浴ウォーク、こけしの絵付け体験）
- ・市東部：東部地区で各事業者が実施する体験プログラム
（フルーツ狩り、笹かまぼこ作り等）

ウ 宿泊促進と消費拡大に繋がるナイトタイムエコノミープログラムの創出

宿泊需要促進のため、ナイトプログラムやイベントをサイトに掲載したほか、前泊需要に繋がる早朝プランを創出し、プロモーションを行った。

エ 研修会や交流会など、体験プログラム運営事業者への支援

Instagramを活用したプロモーション強化を目的に、事業者向けの研修会を実施した。

【Instagram研修&ワークショップ】

開催日：令和7年2月27日（木）、会場：仙台観光国際協会、参加者：21名（21事業者）

オ 「仙台旅先体験コレクション」の管理運用等

体験Webサイト「仙台旅先体験コレクション」の管理運用と仙台MaaSと連携しながら、デジタルマップの搭載による機能強化を図った。

カ 大阪・関西万博を契機としたインバウンド向け体験プログラムの造成支援・プロモーション

WEBサイト「仙台旅先体験コレクション」登録事業者と連携した新規プログラム造成・既存プログラムの磨き上げのほか、大阪・関西万博ポータルサイトへの掲載申請支援及び市内宿泊施設向けのパンフレット・データを作成した。

- ・大阪・関西万博ポータルサイトへの掲載申請：17件（うち、承認16件）
- ・パンフレット、データの作成：英語/繁体字

ii. 観光地域づくりの推進【重点】

仙台市内を4つのエリア（作並・定義、秋保、中心部、東部）に分け、それぞれのエリアの特徴や多種多様な魅力を活用したブランドコンセプトの確立に努めた。

ア 市中心部：「歩いて発見伊達なまち～あなたのおきを見つけよう～」

期間：令和6年10月3日（木）～12月25日（水）

仙台市内に中心部のまち歩き案内所を設置し、まち歩きの紹介と案内及びガイド付きのまち歩きツアーを実施した。（計20回、参加者：57名）

イ 市東部：「くらしに+せんだい海手リゾート宣言」

期間：令和7年1月10日（金）～2月28日（金）

仙台東部エリアの観光スポットを周遊するようスタンプラリーを実施し、753名がエントリーし、延べ277名が特典に応募した。

ウ 秋保：「秋保クラフトバレー～Craftmanship&Nature～」

期間：令和6年11月15日（金）～12月27日（金）

秋保エリアの周遊を促すため、「秋保クラフトバレースタンプラリー」を実施し、862名がエントリーし、延べ164名が特典に応募した。

エ 作並、定義：「ゆっくりじっくり作並定義リトリート」

期間：令和6年6月28日（金）、7月1日（月）～5日（金）（作並定義ホテルバスの運行日）

定義地区に多くの来訪者が訪れるホテル観賞会及びホテル祭において、作並温泉からのホテルバスの運行及び定義における受入環境整備に取り組んだ。

iii. デジタル再生古地図街歩きによる青葉山エリアプロモーションの実施【重点】

仙台市指定文化財である「仙台北下五蔵卦絵図」を仙台市博物館協力のもと、デジタル古地図として再生・再現し、WEBサイト上で、現代地図と比較して閲覧できるサービスを構築した。

- ・仙台北下再生古地図の開発
- ・教育旅行用パンフレット2千部作成
- ・プロモーション用チラシ10千部作成
- ・完成披露セミナー「仙台古絵図さんぽ～仙台北下デジタル再生古地図活用法～」

開催日：令和7年2月21日（金）、会場：仙臺緑彩館交流体験ホール

内容：観光ボランティアガイド団体の会員及び観光ボランティアガイドに興味のある一般の方を対象に、（一社）ジモトアーカイブせんだい理事の木村浩二氏を講師に招き、仙台北下デジタル再生古地図活用法をテーマにセミナーを実施した。

iv. 宿泊事業者の人材確保の支援【重点】

宿泊事業者の課題である人材の確保について、スポットワークを活用することで事業者と求職者のマッチングを行うため、スポットワーク事業者と協定を締結し、「ホテルや旅館で働く」をテーマに、ワーカー向けの研修を実施したほか、併せて、宿泊事業者に対し、スポットワーク活用支援補助金を交付した。

研修：ホテル編 2 回（令和 6 年 8 月 9 日（金）江陽グランドホテル、令和 7 年 2 月 18 日（火）仙台国際ホテル） / 旅館編 1 回（令和 6 年 7 月 12 日（金）緑水亭）

参加者：延べ 89 名、補助金交付件数：7 件、交付金額：700 千円

v. 観光ボランティアガイド団体の活動支援

ア 観光ボランティア団体等への助成

仙台市内で活動する観光ボランティア団体が主催する事業等に対して助成を行った。交付件数：4 団体（7 件）、交付金額：318 千円。

イ 市内街歩き企画「仙台北登城路を歩こう」

期間：令和 6 年 11 月 2 日（土）～24 日（日）の土日祝日 ※全 9 回

内容：観光ボランティアガイド団体と連携し、仙台北緑彩館から仙台北本丸跡までの登城路を会場に、市内街歩き企画を実施した。参加者：99 名

ウ 「観光・おもてなし研修会」（「仙台北絵図さんぽ」完成披露セミナー同時開催）

期間：令和 7 年 2 月 21 日（金）青葉山公園、仙台北緑彩館交流体験ホール

内容：「仙台北絵図さんぽ」の完成披露セミナー開催に合わせ、研修会を実施し、観光ボランティアガイド団体の活動を紹介する PR 会を行った。参加者：130 名

vi. 街角案内所における情報発信

市内の商業店舗等と連携して設置している街角案内所 17 施設において、観光情報をはじめ定期的な情報発信とパンフレット類の提供を行ったほか、全箇所の利用状況調査を実施した。

vii. 他団体との連携による情報発信

宿泊施設・観光施設・交通事業者等と連携した誘客の促進を図った。また、「仙台北牛たん振興会」作成パンフレット「仙台北牛タンマップ」における情報の発信等に協力した。

viii. 仙台北まるごとバス運営協議会等の事務局運営

仙台北圏の二次交通商品「仙台北まるごとバス」と「るーぷる仙台北」の宣伝・販売促進を担う「仙台北まるごとバス運営協議会」及び「仙台北市観光シティーラープバス運行協議会」事務局を運営した。

ア 仙台北まるごとバス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット、ポスター、特典ブック等の作成、バス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・利用者アンケートの実施
- ・令和 6 年度販売実績：19,630 枚（前年度比 108.9%）

イ 仙台北市観光シティーラープバス運行協議会事務局運営

- ・一日乗車券の紙券移行に伴う利用方法の変更周知
- ・リーフレット等の作成と活用、乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施
- ・令和 6 年度るーぷる仙台北利用実績：456,090 名（前年度比 92.7%）

(3) 仙台西部地区観光振興事業

仙台的観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため、各種事業を展開した。

① 西部地区の観光振興に関する事業

i. 観光振興事業の助成【重点】

仙台西部地域で活動する団体が、観光資源を活用した誘客促進や観光客の受入環境整備等の観光振興を目的として実施する事業に対して、経費の一部を助成した。

実施地区	件数	金額
秋保地区	8件	6,498,000円
作並・定義地区	7件	4,414,000円
泉西部地区	3件	1,012,000円
合計	18件	11,924,000円

ii. 仙台西部観光振興推進協議会の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図るうえでのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」の事務局を運営した。

ア 【第34回】(令和6年4月16日(火)) 仙台観光国際協会会議室 出席者9名)

議題：①令和6年度助成金交付事業、②市内中心部イベントとの連携、
③令和7年度予算要求に向けた新規事業

イ 【第35回】(令和6年6月14日(金)) 仙台観光国際協会会議室 出席者9名)

議題：①市内中心部イベントとの連携について
②仙台市西部地区観光地域おこし協力隊活動支援業務

ウ 【第36回】(令和6年8月23日(金)) 仙台観光国際協会会議室 出席者7名)

議題：①アドベンチャーツーリズム、②温泉ガストロノミー、③外国語MAP、
④観光情報サイトのリニューアル(顧客管理システムの導入)

エ 【第37回】(令和7年1月24日(金)) 仙台観光国際協会会議室 出席者9名)

議題：①令和7年度西部観光振興事業、②西部地区デジタルマーケティング報告、
③令和6年度助成金事業の執行状況、
④仙台市西部地区観光地域おこし協力隊について(報告)

iii. 観光事業者等との連携による観光振興策の創出

仙台市と連携し、仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を行い、地域の特徴や魅力を活かし、作並・定義エリアにおいては受入環境整備を中心に組み込んだほか、秋保エリアにおいては、周遊促進事業に取り組んだ。

iv. 広報活動支援

「せんだい旅日和」やSNSを活用し、仙台西部地区(秋保、作並・定義、泉西部)のイベント情報を発信し、集客の向上を図った。

v. 誘客支援

仙台西部地区を網羅したクーポン付マップのWEB情報を更新し、誘客支援を行った。

vi. 仙台市西部地区観光地域おこし協力隊の活動支援

仙台市西部地区観光地域おこし協力隊活動支援業務を受託し、令和6年度には、作並・定義地区、泉西部地区を活動エリアとして2名採用し、活動支援を行った。

② 秋保地区の観光振興に関する事業

秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを行うとともに、魅力向上に繋がる企画の実施や街路灯・案内看板等を管理し、観光客を迎え入れる環境を整備した。

i. 観光施設等の維持管理

秋保温泉の街路灯施設、案内誘導柱、案内看板、歓迎こけし塔等の維持管理を行った。

ii. 秋保温泉郷旅あるきマップ等の作成

秋保地区の観光施設や飲食店等を紹介する「秋保温泉郷旅あるき MAP」(7 万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力を発信した。

iii. 観光行事の開催支援(秋保)

秋保温泉活性化事業、大東岳山開き、まつりだ秋保等への開催を支援した。

- ・野尻交流カフェばんどころ(令和6年4月13日(土)～12月1日(日)の毎週土日)
- ・第9回手ん店～あきうクラフトフェア～(令和6年4月13日(土)～14日(日))
- ・大東岳山開き(令和6年5月26日(日))
- ・さかいの産直市(令和6年6月15日(土)～11月16日(土)の毎週土日)
- ・秋保温泉活性化事業(花いっぱい運動)(令和6年4月1日(月)～11月30日(土))
- ・アキウルミナ2024(令和6年10月25日(金)～11月24日(日))
- ・まつりだ秋保(令和6年10月27日(日))
- ・秋保・里の収穫祭(令和6年11月10日(日))

iv. 「日本温泉協会会員総会」への開催支援

令和6年6月25日(火)に秋保温泉で開催された「日本温泉協会会員総会」の開催を支援した。

③ 作並・定義地区の観光振興に関する事業

作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを行うとともに、魅力向上に繋がる企画の実施や街路灯・案内看板等の管理を行い、観光客を迎え入れる環境を整備した。

i. 観光施設等の維持管理

作並温泉や定義地区の街路灯施設、歓迎こけし塔、歓迎塔、案内看板等の維持管理を行った。

ii. 仙合作並温泉・定義旅あるきマップ等の作成

作並・定義地区の観光施設や飲食店等を紹介する「仙合作並温泉・定義旅あるき MAP」(4.5 万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力を発信した。

iii. 観光行事の開催支援(作並定義)

作並・定義地区で開催される各種祭り・イベント等の開催を支援した。

- ・作並駅での臨時列車歓迎(令和6年4月20日(土))
- ・定義歩行者天国(令和6年5月3日(金・祝)～5日(日))
- ・定義ホテル観賞会(令和6年6月28日(金)～7月7日(日))
- ・定義ホテル祭(令和6年7月6日(土))
- ・定義如来夏祭り(令和6年8月3日(土))
- ・ほっこり作並雪まつり(令和7年2月1日(土))

④ 泉西部地区の観光振興に関する事業

泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、魅力向上に

繋がる企画を実施した。

i. 泉西部旅あるきマップ等の作成

泉西部地区の観光施設や飲食店等を紹介する「泉西部旅あるき MAP」(1.5 万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力を発信した。

ii. イベント等の開催支援

泉西部地区で開催される各種イベント等の開催に向けた広報支援等を実施した。

- ・ 泉ヶ岳山開き (令和 6 年 4 月 20 日(土))
- ・ 根白石おもしろ市(令和 6 年 4 月 20 日(土)～12 月 21 日(土), 3 月 15 日(土)の毎月第 3 土曜日)

(4) せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的とし、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等を行ったほか、支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を実施した。

i. ロケーション撮影誘致と支援業務

紙媒体及び動画を活用した誘致ツールを作成するとともに、国内の映像作品を中心に、関係各所と連携しながらロケーション撮影を支援した。

- ・ 映像制作者向け広報リーフレット改訂 (日本語版 500 部/英語版 300 部)
- ・ 映像制作者がテレビ番組等で自由に利用できる動画コンテンツの制作 (定禅寺通, 仙台城跡, 円通院, 三陸エリア (石巻, 気仙沼), 瑞鳳殿)
- ・ 樋口真嗣監督作品 2025 年 NETFLIX 公開映画「新幹線大爆破」
- ・ 中野量太監督 2025 年劇場公開映画「兄を持ち運べるサイズに」

ii. 地元ロケ作品の積極的な PR 活動の展開

年度内に 5 作品が公開され、関係各所と連携したプロモーション活動を実施した。

映画「ラストマイル」、映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」、映画「十一人の賊軍」、映画「サンセット・サンライズ」、NHK 土曜ドラマ「水平線のうた」を活用したプロモーション

iii. 地域啓発事業

- ・ 地元メディア及び紙面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・ 仙台短編映画祭 2024 への参画

iv. 支援実績

- ・ 映画, TV 番組, CM, 書籍等 支援件数 194 件 (うち撮影実績 45 件)

v. 経済効果

当事業の実施による宮城県全体に対する経済効果は下記のとおり。

- ・ 令和 6 年度直接経済効果: 約 22,514 千円
- ・ 産業連関表に基づく二次波及効果: 約 37,000 千円

(5) 仙台・青葉まつり支援事業

大規模な祭りの魅力を活かした誘客拡大を目的に、仙台・青葉まつり協賛会事務局や伊達政宗公山鉾巡行に関わる業務を行ったほか、青葉まつり開催期間に合わせて、伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において、仙台の工芸品等を奉納し、瑞鳳殿資料館で展示した。

「第40回仙台・青葉まつり」は、令和6年5月18日(土)～19日(日)の2日間、市民広場、勾当台公園、

定禅寺通等を会場に開催され、市内外から約93万人が来場した。

2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に、仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の伝統工芸の後継者育成をはじめ、物産品・名産品等の販路拡大のための支援を行った。

(1) 物産振興に関する事業

i. 物産品等による観光客誘致プロモーションの実施【重点】

ア 姉妹都市・就航都市等への物産品PR

【伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（札幌市）】

令和6年6月20日（木）～22日（土）/札幌駅前通地下広場 北3条交差点広場

【伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（大阪市）】

令和6年7月5日（金）～7日（日）/梅田スカイビル

【仙台・山形観光物産展（東京都千代田区）】

令和6年11月16日（土）～18日（月）/東京シティアイ パフォーマンスゾーン

【仙台観光フェア in 盛岡（盛岡市）】

令和7年2月22日（土）～23日（日）/JR盛岡駅コンコース・フェザン

イ 展示会・物産展等出展

【夏の仙台いいもののフェア】

WEB販売：令和6年7月25日（木）～8月8日（木）

/仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」

現地販売：令和6年8月5日（月）～8月8日（木）

/JR仙台駅2階 東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

【冬の仙台いいもののフェア】

WEB販売：令和6年12月13日（金）～令和7年1月13日（月）

/仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」

現地販売：令和6年12月19日（木）～12月22日（日）

/JR仙台駅2階 東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

【仙台ものづくりフェア】

WEB販売：令和6年11月6日（水）～30日（土）

/仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」

現地販売：令和6年11月6日（水）～10日（日）

/東北電力グリーンプラザ アクアホール

【仙台・青葉まつりと連携した仙台駅銘品・工芸品フェアの開催】

・2024 仙台・宮城の味と技フェア

令和6年5月14日（火）～19日（日）/JR仙台駅2階 ステンドグラス前

・広島県広島市立広島商業高等学校における出展協力

震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応

令和6年11月30日（土）～12月1日（日）

ii. 仙台市工芸展の開催

令和7年1月21日（火）～30日（木）の10日間、エスバル仙台本館を会場に、仙台の工芸品の展示・販売会を開催した。

iii. 物産パンフレットの改訂

「仙台銘品ガイド」を改訂リニューアルし、食品・工芸の2種のガイドブックのデザイン編集・データを作成した。

iv. 伝統的工芸品製造者等の後継者人材育成

伝統的工芸品製造事業者等の後継者育成支援を目的に、若手後継者の会の事業に助成した。

v. 東北等近県における物産品等による観光客誘致プロモーションの実施（再掲）

vi. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示（奉納の会：令和6年5月8日（水））

瑞鳳殿で地元銘品等を伊達政宗公に奉納するとともに、奉納品を「瑞鳳殿資料館」に展示した。

vii. 物産関係団体との連携による情報発信

- ・宮城県物産振興協会・観光土産品公正取引協議会との連携
- ・仙台商工会議所との連携
- ・仙台市産業振興事業団との連携
- ・仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会との連携

3. コンベンション推進に関する事業

仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図ることを目的に、当協会が蓄積してきたネットワークや知識・情報を有効に活用し、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業を実施した。

（1）コンベンション誘致・支援事業

① コンベンション助成事業

国際・国内会議の開催を仙台市に誘致するとともに、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与することを目的に、コンベンション主催者に対し、開催助成や開催準備資金貸付を行ったほか、仙台国際センターの休館対策として分散開催コンベンション開催助成を新設した。

	項 目	件 数	金 額
i	コンベンションの開催助成(国際会議、国内会議)【重点】	36件	23,674,367円
ii	分散開催コンベンションへの助成【新規】	2件	4,000,000円
iii	市民公開講座の開催助成	6件	864,797円
iv	コンベンション・シャトルバスの運行助成	1件	500,000円
v	コンベンション開催・準備資金の貸付	1件	2,000,000円

② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でのコンベンション開催のセールス活動及び招請活動を行うとともに、IME（国際 MICE エキスポ）や IMEX フランクフルトに出展し、商談及び仙台の魅力を PR し、国際会議を中心に誘致を図った。

i. ミーティング（M）・インセンティブツアー（I）の誘致セールス【重点】

- ・企業が実施する M, I に関する誘致として、首都圏の旅行業協会等への訪問を中心に、仙台市内の旅行代理店や宿泊施設等含め 36 ヶ所へセールスを実施した。（宿泊施設：7 施設 MICE 施設：5 施設 旅行代理店：22 社 旅行業協会：2 支部）

- ・令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)の期間、会議等の開催の促進ならびに宿泊およびMICE施設の利用促進を図るため、会議等の開催経費を一部助成する「仙台企業系会議・報奨旅行等開催助成」を実施した。(助成実績：9件1,316人、助成額：2,332千円)

ii. 国際MIの誘致

- ・地域経済への影響が大きく有望な拡大市場である海外ミーティングやインセンティブ旅行の誘致に積極的に取り組んだ。

令和6年9月26日(木)～28日(土)、海外のインセンティブバイヤー対象に商談を行う「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2024」(主催：JNTO(日本政府観光局))に出展し、商談を実施した。商談件数：44件。

- ・JNTO 主催インセンティブ旅行商談会に参加し、海外のインセンティブバイヤーに仙台のPRを行い誘致を促進した。

令和6年8月28日(水) 韓国/令和6年9月4日(水) 台湾/令和6年10月28日(月) シンガポール/令和6年12月10日(火) マレーシア/令和6年12月12日(木) タイ

iii. 首都圏等における誘致セールス

- ・首都圏や東北大学を中心とした地元の会議キーパーソンへの誘致活動を訪問やオンラインで実施した。首都圏(7回：21件)、首都圏キャラバン(21件)、東北大学(10回：62件)
- ・令和6年12月2日(月)、3日(火)、4日(水)の3日間、東北大学キャンパスにおいて大学関係者の方を対象に、「コンベンション開催支援セミナー」を開催し、協会の支援事業の説明を行った。参加者：34名。

iv. 国際MICEエキスポ(IME)への出展

令和7年2月13日(木)、国内外のMICE主催者を対象に商談を行う「IME2025」(主催：JCCB(日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)、JNTO(日本政府観光局))に出展し、会議主催者等と商談を実施した。商談件数：18件。

v. コンベンション主催者の招請

仙台を開催候補都市の一つとして検討している国際会議や全国会議の主催者を招請する視察への対応を行った。

vi. 国際会議協会(ICCА)データの活用および情報収集

ICCАのデータベースを利用した有力な国際会議の情報を収集した。2023年の国際会議の統計をまとめたICCАランキングで、仙台の開催件数は15件で、アジア地区では34位、国内都市では7位だった。

vii. 東北地区コンベンション合同誘致商談会への参加

令和6年11月26日(火)、都市センターホテル(東京都)で開催された東北地区コンベンション推進協議会主催において、合同誘致商談会を実施した。出展：16団体、来場者数：29団体41名(うち仙台ブースにて商談：16団体)。

viii. ICCА事業の拡充

総会に参加してコンベンション市場の最新の動向や開催情報を得るとともに、関係者とのネットワークを広げ、国際会議の誘致に結び付けた。

③ コンベンション支援事業

仙台で開催されるコンベンションに対し、必要となる助言・サポート及び仙台紹介ツールの提供など、

事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与した。また、国際会議ボランティアの育成・派遣によるおもてなしの向上を図った。

i. 分散開催促進のための地下鉄一日乗車券の利用支援

仙台市において会場を分散し行われるコンベンションを対象に、仙台市市営地下鉄一日乗車券を配付し、参加者の利便性を図るとともに回遊促進を行った。

ii. MICE サポートセンターの設置・運営

コンベンション等 MICE 受入を目的とした各種情報の収集、セミナー等の開催を行った。

ア 「令和 6 年度 MICE レベルアップセミナー」(仙台コミュニケーションフェアと同時開催)

令和7年2月27日(木)、仙台国際センターを会場に、東北大学大隅典子広報担当副学長による「～国際卓越研究大学認定第一号・東北大学の新たな歩みと国際会議～」と題した講演と観光庁「国際会議におけるサステナビリティ推進事業」の報告を行った。参加者：約50名

イ 「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」の開催

仙台国際センター、仙台市と共催で開催し、会議関係者に対し当協会の支援内容の情報提供説明を行った。

ウ WEB による仙台の魅力の発信

企業内会議・研修会・報奨旅行向けサイトの入り口をまとめ、情報発信をわかりやすく整理し実施した。

エ その他支援

観光などパンフレットの提供、コンベンションバッグの提供(有料)

iii. コンベンション誘致・支援キットの作成等

文化観光施設割引券、各種支援案内、大会・会議かんたんマニュアル、10年カレンダー

iv. 開催会議への支援メニュー(アトラクション、エクスカーショ、体験プラン)の提供

国際会議及び全国規模の国内会議において、アトラクション、エクスカーショ、体験プラン、おもてなしメニューを提供した(国際会議：4件、国内会議：15件)。

v. 国際会議ボランティアの育成・派遣

ア 「仙台コンベンション学生サポーター説明会」(令和 6 年 6 月 22 日(土) 参加者：25 名)

新たに加入した学生サポーターに対し、当協会の事業内容や国際会議の概要、学生サポーターの役割などについて説明会を行った。

イ 令和 6 年度国際会議ボランティアシンポジウム」(令和 6 年 11 月 16 日(土) 参加者：26 名)

MICE 開催における仙台での SDGs についての取組紹介と国際会議で人気のワークショップ「マイ箸作り体験」を実施した。

ウ ボランティア派遣

国際会議のホスピタリティデスクや案内対応として、国際会議ボランティアを会場に派遣した。
派遣件数：7 件(うちホスピタリティデスク設置：5 件)

エ 「観光レジリエンスサミット」へのボランティア派遣

令和 6 年 11 月 9 日(土)～11 日(月)に開催された「観光レジリエンスサミット」へボランティアを派遣し、21 名が活動に携わった。

令和 6 年 9 月 23 日(月)・28 日(土) 協会会議室にて語学ボランティア育成研修会を実施。

令和 6 年 10 月 26 日(土) 語学ボランティア結団式を開催し、学生 2 名が決意表明を行った。

vi. コンベンション開催時の歓迎表示

全国会議を対象に JR 仙台駅 2 階のウェルカムボード等へ歓迎表示を行った（国内会議 117 件）。

vii. 国際会議開催地としての魅力向上の実証

海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援として「仙台広域 MI 誘致協議会」を設立し、東北大学を核とした知的資産コース、広域連携の郡山コース、ユニークベニューの造成を行い、タイと台湾から 3 名ずつ専門家を招聘してモニターツアーを実施した。さらに約 4,000 名が参加した「第 32 回日本乳癌学会学術総会」において街バルを企画し、会議参加者の街なかの回遊促進を図り、国際会議開催地としての魅力向上を示す実証事業を行った。

4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人住民が、自らの個性を活かしながら、地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目的として、外国人市民支援や国際理解などに関する各種事業を実施した。また、ウクライナからの避難民に対して、仙台市と連携して相談対応や通訳などの支援を行った。

（1）外国人市民支援

① 日本語学習支援事業

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人住民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

i. 日本語講座の開催

市民センターや市民団体との協働により、市内 7 か所に日本語学習支援の場をつくり、外国人住民が生活に必要な日本語の習得を支援した。

ア センだい日本語講座

（前期）5 月～10 月 受講者：167 名 （後期）11 月～3 月 受講者：140 名

イ 日本語ティールーム（託児付き）

（期間）5 月～3 月 受講者：71 名

ウ さっと日本語クラブ（小中学生対象）

（期間）5 月～2 月 受講者：45 名

エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

外国人の子ども・サポートの会、泉日本語サロン、茂庭台日本語サロン、RAN 日本語教室

ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語学習の希望者に、学習支援のために日本語ボランティアを紹介するとともに、登録ボランティア向けの研修会を開催した。

ア 日本語ボランティア研修会

開催日：令和 6 年 12 月 8 日（日） / 場所：仙台多文化共生センター研修室

テーマ：対話を通して、活動を考えてみよう～学習者の「できた」を増やすために

講師：Yurt 東北日本語教師協働会 吉田 環 氏 / 参加者：24 名

イ 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介

登録者ボランティア数 87 名、学習者希望申込者数 26 名、学習を開始した学習者数 22 名

ウ 市民団体が行う研修会への協力

iii. 地域日本語教育の体制整備

外国人住民の新たな学習ニーズに応える地域日本語教育の体制づくりのため、コーディネーターを配置し、下記のとおり実施した。

ア 総合調整会議

開催日：第1回：令和6年8月28日（水）、第2回：令和7年2月21日（金）

内 容：大学、市民団体、外国人コミュニティ、日本語学校等の関係者を招集し、市内の日本語教育の現状と今後の方向性、関係機関の取組の共有と連携の検討などを議論した。

イ 地域日本語学習支援検討会

開催日：令和7年2月17日（月） / 出席者：市内13教室、関係者19名

内 容：地域日本語教室等関係者を対象とし、外国人住民や市内各教室の状況を共有するとともに、地域日本語教育の体制整備事業について取組み状況や方向性を説明した。

ウ オンライン教室

外国人住民の学習ニーズに対応するため、関係機関等と共催、協力しながら、オンライン教室を開催した。（子ども対象：全26回、受講者：67名/成人対象：全10回、受講者：14名）

エ 子育て日本語教室

未就学児・小学校低学年児童の外国人保護者を対象とし、日本での子育てに必要な知識・情報と、関連した日本語力を身に着ける教室を新たに開催した。（全6回開催、受講者：43名）

オ ポータルサイトの運営

地域日本語教育について市民と効果的・効率的に情報共有を図るため、ウェブサイトを公開し、関連情報を発信した。また、ベトナム語、ネパール語のページを追加した。

② 生活支援事業

外国人住民が、交通安全や防災、文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び、地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等や生活に必要な情報の翻訳と広報を実施した。言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため、ガイダンスや学習教室の開催、情報提供等を行った。また、困窮する外国人住民向けの情報発信、支援も行った。

i. コミュニティ通訳サポーターの募集・研修

行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをする「コミュニティ通訳サポーター」の登録、研修を行った。

ii. 生活オリエンテーションの開催

外国人住民が安心・安全に暮らすため、日本語講座、日本語学校、専門学校、大学等に出向いて生活オリエンテーションを行った。

ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

期 間：令和6年4月～令和7年1月（全4回） / 参加者：延べ46名

テーマ：仙台観光国際協会の紹介、災害・防災、生活情報（ごみの分別等）、図書館の利用方法、先輩外国人住民の経験談

イ 出前講座 開催数：通年14回 / 参加者：延べ937名

iii. 生活情報の多言語化

健康、子育て、防災など外国人住民の生活に必要な情報を行政機関や市民団体と連携して多言語に翻訳・提供した。また、仙台市と協力して、生活困窮者支援や各種給付金等の情報も多言語化し発

信した（全 22 件，主にベトナム語，ネパール語への翻訳）。内容は，定額減税調整給付金，物価高対策緊急支援給付金他，生活，健康・子育て，税金年金，ごみ等。

iv. FM ラジオ多言語放送による情報発信

FM ラジオ 4 局の協力を得て多言語による情報発信を行った。平常時は季節の話題や生活情報を提供し，災害発生時には支援情報を提供するツールとして活用した。

放送日：言語ごと月 1 回 14 分 / 内容：生活情報，イベント情報等 / 言語：英語，中国語，韓国語，やさしい日本語 / 協力：エフエムたいはく，fm いずみ，ラジオ 3，エフエムなとり

v. 外国につながる子どもの支援

外国人児童生徒をはじめとする外国につながる子どもを支援するため，通訳や情報提供，学習支援のできるコーディネーターを学校等に派遣した。

ア 「外国につながる子どもサポートせんだい相談デスク」

- ・相談事案数：124 件（小学校 81 件，中学校 31 件，その他 12 件）
- ・コーディネーター，職員派遣数：79 件（小学校 59 件，中学校 16 件，その他 4 件）
- ・公開研修会（令和 7 年 2 月 22 日（土）参加者：22 名）
- ・コーディネーターミーティング（オンライン）（令和 6 年 8 月 9 日（金）参加者：5 名）
- ・日本語学習の教材の整備，貸出（新規貸出：8 校，継続貸出：20 校）

イ 「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス宮城 2024」

開催日：令和 6 年 7 月 28 日（日） / 場所：仙台多文化共生センター，Zoom

内 容：会場とオンラインで高校進学に関する情報提供，質疑応答を行った。参加者：57 名

ウ 日本語を母語としない小中学生のためのオンライン教室

共催：宮城教育大学 / 協力：宮城県国際化協会

内容：Zoom を使用し，年度内 3 期，計 26 回開催し，教科学習や日本語学習支援を行った。

エ 「日本語を母語としない中学生のための夏休み教室」（後援：仙台市教育委員会）

開催日：令和 6 年 7 月 27 日（土） / 場所：仙台多文化共生センター研修室

参加者：8 名，支援協力者（学生ボランティア）12 名。

内 容：外国につながる中学生を対象に，宮城教育大学・東北大学と協働し高校進学等，日本での進路について考える教室を開催した。

オ 外国人児童と家族のための小学校入学準備講座

令和 7 年 2 月 15 日（土），小学校生活や準備物，子どもの学習に関する情報提供，言語別相談の場を開設し，12 家族 20 名が参加した。

vi. 多言語による防災情報発信及び防災訓練の実施

外国人市民への防災啓発を図るとともに，外国人市民の防災活動・災害時支援における市民協働を推進した。

ア Date fm（エフエム仙台）防災番組「Sunday Morning Wave」への協力

番組内「Global Talk」のコーナーに出演するゲストについて，防災活動に取り組む外国人住民等を紹介し，番組制作に協力した。

放送日：毎月第 2 日曜日 / 番組名：防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」

イ 防災探宝 Disaster Risk Reduction Treasure Hunt の開催

開催日：令和 6 年 6 月 2 日（日）

場 所：仙台多文化共生センター，片平地区各所，東北大学ユニバーシティハウス片平

内 容：東北大学災害科学国際研究所と連携し、防災知識や地域の防災拠点等を学ぶ座学及び宝探し形式のワークショップを実施した。外国人住民 27 名が参加した。

ウ 東北大学グローバルラーニングセンター防災研修の実施

開催日：令和 6 年 6 月 28 日（金）

場 所：仙台多文化共生センター

内 容：東北大学短期滞在プログラム参加の学生 44 名を対象に、東日本大震災時の被災状況や防災・災害時の対応について学ぶ研修を実施した。

エ 「テーマで学ぶ仙台防災枠組 多文化防災 について実践的に学ぼう！」への協力

開催日：令和 6 年 8 月 3 日（土） / 場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

内 容：仙台市防災環境都市推進室主催の講座で、防災に関心のある市民 58 名に対し、多文化防災についての講義及びやさしい日本語のワークショップを実施した。

オ せんだい外国人防災リーダー育成研修の開催

開催日：令和 6 年 9 月 21 日（土） / 場所：仙台多文化共生センター

内 容：防災に関心のある外国人を募り、災害や外国人支援に関する研修を行い、参加者 17 名を新規防災リーダーに認定した。

カ 仙台駅周辺帰宅困難者訓練への協力

開催日：令和 6 年 10 月 29 日（火） / 場所：仙台駅周辺

内 容：仙台市災害時言語ボランティア、せんだい外国人防災リーダー等 11 名が外国人帰宅困難者役として参加し、交通事業者や周辺施設の関係者の災害時における外国人対応力の向上に協力した。

キ 仙台市消防局指令課外国人対応研修への協力

開催日：令和 6 年 11 月 8 日（金） / 場所：仙台市消防局

内 容：119 番通報に対応する指令課職員 12 名を対象に、仙台市災害言語ボランティア、せんだい外国人防災リーダー等 12 名の協力のもと、外国人からの通報のシミュレーション訓練を実施した。

ク 東六地区連合町内会防災訓練への協力

開催日：令和 6 年 11 月 16 日（土） / 場所：東六コミュニティセンター

内 容：外国人住民の集住地域である東六地区で実施された防災訓練に、仙台市災害言語ボランティア、せんだい外国人防災リーダー等 3 名が参加した。外国人住民と地域住民が協働して訓練を実施した。

ケ 国見地区東部ブロック 6 町内会合同防災訓練への協力

開催日：令和 6 年 11 月 2 日（土） / 場所：仙台市立三条中学校

内 容：外国人住民の集住地域である国見地区で実施された防災訓練に、仙台市災害言語ボランティア、せんだい外国人防災リーダー等 11 名が参加し協力した。外国人住民と地域住民が協働して避難所運営を行う訓練を実施した。

コ 「テーマで学ぶ仙台防災枠組 総合編」への協力

開催日：令和 6 年 12 月 21 日（土） / 場所：TKP ガーデンシティ仙台

内 容：仙台市防災環境都市推進室主催の講座で、防災に関心のある市民約 100 名に対し、多文化防災事業の事例発表を行った。せんだい外国人防災リーダー 1 名も参加し、外国人の視点から報告を行った。

サ センダイ外国人防災リーダーミーティングの開催

開催日：令和7年2月8日（土）／場所：仙台観光国際協会会議室

内 容：防災リーダー登録者等16名が参加し、年度内の活動について情報共有するなどリーダー間のつながりを創出した。

シ 仙台防災未来フォーラムへの参加

開催日：令和7年3月8日（土）／場所：仙台国際センター展示棟

内 容：宮城県国際化協会との共催で、多文化防災をテーマに(株)河北新報社と(株)藤崎から登壇者を招きパネルトークを行った。参加者：42名

ス 「紙芝居による災害伝承 日本在住外国人の視点」の開催

開催日：令和7年3月20日（木・祝）／場所：東北大学災害科学国際研究所

内 容：東北大学災害科学国際研究所、スタンフォード大学フーヴァー研究所と共催し、外国人住民の被災体験の伝承をテーマにしたイベントを開催し、仙台市災害時言語ボランティアが作成に協力した災害伝承の紙芝居披露や、パネルディスカッションを実施した。

vii. 留学生へのリサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を図るため、仙台市が回収した放置自転車を宮城県自転車軽自動車商業協同組合の協力により修理し、市民団体と協力して留学生に斡旋・販売した。

開催日：令和6年4月21日（日）／場所：仙台多文化共生センター内研修室

申込者：76名／販売台数：40台

viii. ウクライナ避難民支援事業

避難民支援の調整員を配置し、仙台市に避難したウクライナ避難民からの問合せや相談に対応したほか、仙台市や関係団体が行う支援につなげるための調整及び翻訳・通訳支援を行った。

（2）災害時の外国人支援

① 仙台市災害多言語支援センター運営事業

大規模災害発生時、外国人住民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するため、仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行った。

i. 仙台市災害多言語支援センター設置・運営

令和6年度は設置なし

ii. 仙台市災害多言語支援センター設置運営訓練

開催日：令和7年3月17日（月）／場所：仙台多文化共生センター会議室／参加者：18名

iii. 仙台市災害多言語支援センターリーフレットの改訂増刷

ベトナム語、ネパール語を追加して、リーフレットの改訂増刷を行った。

発行部数：1千部(6言語併記)

② 仙台市災害時言語ボランティア育成事業

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「仙台市災害時言語ボランティア」として募集し、研修を行った。

i. 登録

登録者90名、対応言語22言語（複数言語登録あり）

ii. 研修会, 訓練

ア 仙台市災害時言語ボランティア公開研修会（令和 7 年 3 月 8 日（土）仙台国際センター）

仙台防災未来フォーラム企画と兼ねて開催。災害時言語ボランティアと災害時の外国人支援に関心のある市民 42 名が参加した。

テーマ：「外国人と多文化防災～インバウンド、留学生、外国人労働者を巡って～」

講師：(株)藤崎 根本 雄二氏, (株)河北新報社 中澤 昂大氏

（３）地域づくり支援事業

市民が自主的に行う国際交流, 国際協力, 多文化共生に関する活動に対して補助金を交付したほか, 外国人住民の状況や多文化共生について考える講座を開催した。

i. 国際理解の推進

学校, 市民センター等が実施する国際理解事業に対して, 講師の紹介や情報提供などを支援した。

ア 人材の登録と派遣

登録者：72 名（31 の国・地域） / 派遣件数：23 件（小学校 13, 高校 2 ほか） /

派遣講師：47 名 / 参加者数：1, 431 名

ii. 市民団体による多文化共生活動等の支援

市民の自主的な国際交流, 国際協力, 多文化共生等の活動促進を図るため, 事業経費の一部を補助した。交付団体数：14 団体, 交付額：1, 132 千円

iii. 多文化まちづくり動画制作プロジェクトの実施

仙台における多文化共生の推進を図るため WEB サイトを運営し, 仙台で暮らす外国人の声や国際交流・協分野に関わる市民団体の活動の様子, 協会事業を動画で紹介した。

ア 動画制作

外国人住民の生活・活動紹介（1 本） / 制作協力：仙台市 留学プロモーション動画（1 本）

iv. 多文化共生講座の開催

区役所等で窓口を担当する職員および地域住民を対象として, 外国人住民対応研修を実施した。

- ・仙台市職員対象（6 回開催 / 参加者 167 名）
- ・社会教育施設職員対象（3 回開催 / 参加者 88 名）,
- ・その他, 市民対象（9 回開催 / 参加者 288 名）

「みんなに伝わるやさしい日本語講座」（シャプラニール仙台・ボンドウの会）, クリーン仙台推進員スキルアップ研修（仙台市家庭ごみ減量課）, 「やさしい日本語講座」（La boite a jouets—音楽の, おもちゃ箱—）, 花京院包括区域ケア会議（花京院地域包括支援センター）, 小地域福祉ネットワーク活動研修会（仙台市社会福祉協議会青葉区事務所）他

（４）人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生をせんだい留学生交流委員として委嘱し, 各種事業への協力を得るとともに, 地球規模の課題や地域の課題について考える機会を提供した。

i. 留学生による多文化共生活動の促進

協会や仙台市が行う諸事業への協力などの活動を行う「せんだい留学生交流委員」に外国人留学生を委嘱し, その活動のための奨励金を支給した。前期 18 名, 後期 17 名。

活動内容：各種講座・ラジオ出演等, 協会事業への協力, 仙台市事業への協力

(5) 国際交流事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団の受入により、市民の国際交流活動を促進した。

i. 海外から訪れる市民団との国際交流の促進

・ホストファミリーボランティア（登録者：81 家庭）

他団体が主催するホームステイ登録説明会の情報提供を行った。

・仙台国際ハーフマラソン大会 2024 国際姉妹都市等交流会（共催：仙台市）

令和 6 年 5 月 12 日（日）仙台国際ハーフマラソン大会の終了後に、江陽グランドホテルを会場に国際姉妹都市等交流会を開催し、各都市選手、市民等 158 名が参加した。

・レンヌ市民訪問団の受入

令和 6 年 11 月 1 日（金）～3 日（日）の 3 日間、国際友好都市のレンヌ市からレンヌ仙台姉妹都市委員会が企画した市民訪問団 14 名を受入れ、市民交流会の開催、ホームステイ、市内・松島観光等を行った。

5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

活力ある都市づくりに資することを目的として、仙台の観光、コンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより、各分野における事業を推進した。また、外国人住民向けに仙台市からのお知らせや各種生活情報を多言語で提供した。

(1) 調査・研究・広報事業

① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

i. デジタルを活用したマーケティングの推進【重点】

仙台市観光 DMP（データマネジメントプラットフォーム）の保守運用管理業務を実施したほか、DMP の各種データや WEB アンケートの結果を取りまとめた「SenTIA マーケティングレポート」を計 4 回作成し、HP 掲載や賛助会員への発信等、情報提供を行った。

ii. 登録 DMO に向けた取組の推進【重点】

令和 6 年 7 月 31 日に登録法人へ申請し、同年 9 月 24 日に観光庁より地域 DMO の登録法人として登録された。

iii. 外国人観光客動態調査【重点】

仙台市内に来訪する外国人観光客に対して、属性や消費額、満足度など、DMO として掲げている目標値・KPI に係る調査を計 4 回（春、夏、秋、冬）実施し、合計 655 名から回答を得た。調査結果については、SenTIA マーケティングレポートより地域事業者等へ情報提供を行った。

iv. 観光 DX 事業（観光 CRM 等）の推進【重点】

観光 DX 事業として、仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」のリニューアルや地域 OTA（オンライン旅行代理店）機能、観光 CRM（顧客関係管理システム）導入について検討を進め、機能や仕様を整理した。

v. 青葉まつり有料棧敷席販売運営の実証

令和 6 年 5 月 18 日（土）、19 日（日）に開催された仙台青葉まつりにおいて、有料棧敷席等の販売運営業務を受託し、実証事業として実施した。

販売数：SS 席 58 名（4 名席 13 テーブル、2 名席 3 テーブル）、S 席 752 名

vi. コンベンション施設関係者等との情報交換会の開催

- ・コンベンション施設関係者情報交換会

第1回：令和6年6月27日（木）12名出席 / 第2回：令和7年2月28日（金）11名出席

- ・コンベンション業務サポーター情報交換会

令和7年2月3日（月）10名出席

vii. コンベンションカレンダーの作成

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。

令和6年度下期版 10月発行 / 令和7年度上期版 3月発行

viii. JCCB(日本コンgresコンベンションビューロー)・JNTO(日本政府観光局)を活用した調査研究

JCCB・JNTO から発信される情報を収集するとともに、全国のコンベンション関係協会と情報交換を行った。

ア JNTO への国際会議開催情報の収集と実績情報の提供

イ JCCB 事業（総会、ビューロー部会）への参加

ウ JCCB データライブラリを活用したマーケティング活動

ix. 東北地区コンベンション推進協議会における調査広報

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営、事業を行った。

・総会 期間：令和6年7月25日（木）～26日（金）/ 会場：コラッセ福島（福島市）

・研修会 期間：令和6年10月17日（木）～18日（金）/ 会場：弘前市立観光館（弘前市）

x. コンベンション開催情報の収集及びデータベース化

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握に向け、データシステムの運用より収集した大会等のデータベース化を行った。

xi. 各種コンベンション関係情報の発信

メールマガジンを5回発行した。

xii. コンベンションアンケート調査の実施

コンベンション開催助成対象会議を中心に、コンベンション参加者アンケート調査を実施し、報告書を作成した。対象件数：26件 総回答数：414名

xiii. 仙台観光コンベンションセミナーの開催（令和7年3月19日（水）仙台国際ホテル）

令和6年12月より、仙台空港に香港からの直行便が就航するなど、今後インバウンドの増加が期待される中、中華圏市場のトレンドと地域事業者が取り組むべき方向性についてヒントとなる情報の提供を目的にセミナーを開催した。

【第一部】1. DMO 事業報告会

2. 講演会

（1）テーマ：「アジア富裕層の訪日旅行のトレンドについて」

講師：㈱行楽ジャパン代表取締役 袁静氏

（2）テーマ：「仙台・東北が今後のインバウンド対応でやるべきこと」

講師：㈱和楽旅行者 阿部素子氏

【第二部】交流会 参加者：第一部 129名 / 第二部 38名

② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究及び市民の理解促進を図るための広報事業を行った。また、外国人住民向けに仙台市からのお知らせや各種生活情報を多言語化し、様々なツールで広報した。

i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状、課題、今後の方向について調整・研究を行うほか、各種協議会や研修会への参加を通して、関係機関とのネットワーク構築を図った。

ア 地域国際化協会連絡協議会 総会（令和6年5月22日（水）東京グリーンパレス）

イ 東北・北海道国際化協会連絡協議会 総会・研修会（令和6年7月25日（木）・26日（金）朱鷺メッセ）

ウ （一財）自治体国際化協会等が行う各種研修への出席

ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙、メールマガジン、SNSを通して事業を広報し、多文化共生に関する意識啓発を行った。また、他団体からの依頼により職員を派遣し、防災や多文化共生の取り組みを紹介した。

ア 「多文化共生情報誌 SENDAI Lifestyle」の発行

2.5千部／年2回発行（日本語）

イ 「国際化事業部ホームページ」運営

ブログ、Facebook、Twitter（日、英、中、韓、ベトナム、ポールの6言語）

ウ 「メールマガジン SenTIA メール」配信（日、英、中、韓、ベトナム、ポールの6言語）

登録者：2,759名 / 配信数：139件

エ 事業広報等のための講師派遣、会議出席等

派遣回数：10回 / 内容：防災・多文化共生について

③ 専門委員会調査研究事業

事業の推進及び活性化を目的に、各専門委員会を開催し、外部有識者等から意見・提言をいただいた。

i. 観光専門委員会

ア 第1回観光専門委員会

開催日：令和6年8月1日（木） / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：11名

内 容：「観光に関して仙台が抱えている課題と対応策」をテーマに、国内誘客、インバウンド、観光DX、人手不足をキーワードに意見交換を行った。インバウンドに関する課題が多く見受けられたため、今後、インバウンド部会を設置し、専門的な立場から議論することとした。

イ 第1回インバウンド部会

開催日：令和7年1月30日（木） / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：7名

内 容：「インバウンド受入に関して、市内事業者を巻き込むために必要なこと、今後取り組むべき香港・欧米豪市場において必要なこと」をテーマに意見交換を行った。「周遊促進のために、二次交通の整備や観光コンテンツの造成・磨き上げ等の受入整備が必要」等の意見が出され、引き続き、協会としても、観光コンテンツの造成・磨き上げに努めていくこととした。

ii. コンベンション推進専門委員会

ア 第1回

開催日：令和6年7月9日(火) / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：13名

内 容：「仙台 MICE 業界の課題解決のための提案」をテーマに意見交換を行った。「医学会はハイブリッド会議が定着し、いかに現地に来てもらえるかが課題になっていることから、仙台に来てもらえる魅力づくりが必要ではないか等の意見が出され、引き続き、関係者とともに仙台としての魅力づくりに向けて取り組むこととした。

イ 第2回

開催日：令和7年3月12日(水) / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：12名

内 容：「MICE 開催地仙台として魅力を向上するには」をテーマに意見交換を行った。「MICE として「防災環境都市」を打ち出して誘致に結びつける。国際卓越大学になった東北大学をもっと活用すべき」等の意見が出され、引き続き、そうした視点を参考に MICE 開催地仙台の魅力向上に取り組むこととした。

iii. 物産専門委員会

ア 第1回物産専門委員会

開催日：令和6年8月27日(火) / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：9名

内 容：「物産業界の人材不足等」をテーマに意見交換を行った。「人材不足を抱えている事業者が多いため、催事の開催方法の検討や、外国人を含めた人材確保に向けた取り組みが必要である」等の意見が出され、引き続き、そうした意見を参考に事業を進めていくこととした。

イ 第1回工芸部会

開催日：令和6年10月17日(木) / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：5名

内 容：「工芸分野の現状・後継者育成」をテーマに意見交換を行った。「製作から販売まで一人で行っている工人も多く、高齢化が課題となっている。後継者育成や若い人材を確保する取り組みが必要である」等の意見が出され、引き続き、そうした意見を参考に事業を進めていくこととした。

iv. 国際化専門委員会

ア 第1回

開催日：令和6年8月27日(火) / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：8名

内 容：「多文化共生講座・防災啓発事業・外国人受入環境整備分野における仙台市と東北大学の連携」をテーマに意見交換を行った。「多文化共生講座・やさしい日本語は、医療機関や企業向けにも実施して欲しい」等の意見が出され、今後、地域の状況を把握しながら、多文化共生講座の対象を広げていく方向で検討を進めることとした。

イ 第2回

開催日：令和7年3月5日(水) / 場所：仙台観光国際協会会議室 / 出席者：7名

内 容：「防災啓発事業・仙台多文化共生センター新事務所と機能・地域日本語教育・その他新たな取組み」をテーマに意見交換を行った。「防災啓発事業においては、地域のエスニック店等も巻き込んでいくべき。防災人材については、留学生に加え仙台に長く残る人たちも確保に努めて欲しい」等の意見が出され、今後、様々なネットワークを活用して、人材確保に努めていくこととした。

(2) 情報発信事業

国内外の観光客を誘致するため、仙台の最新の観光情報やイベント情報等の発信を実施した。

i. 日本語版及び多言語版観光マップの作成

- ・仙台観光マップの作成及び配布 226.5 千部（令和 6 年 7 月発行）
- ・多言語版観光マップ「SENDAI TOURIST MAP」作成 53 千部（英，繁体，タイ）
- ・多言語版観光マップ「SENDAI TOURIST MAP」R5 年度版 増刷 25 千部（英，簡体，韓）

ii. 多言語版プロモーション用ガイドブックの作成

- ・「SENDAI GUIDEBOOK」作成 47 千部（英，簡体，繁体，韓，タイ）

iii. 仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」による情報発信

仙台市の観光，イベント情報，関連する役立ち情報等を紹介する WEB サイトの運営，管理を行ったほか，新たにInstagramアカウントを開設し，情報発信の強化を図った。

- ・総ページビュー数：年間 6,007,885 件

iv. 機関紙「SenTIA」の発行

ア 機関誌 SenTIA16 号の発行及び賛助会員名簿の発行

イ 会員ホームページやメール配信を活用した情報提供

会員専用 HP にマーケティングデータの公開コーナーを設置し，各種調査データを公開した。

ウ マーケティングデータの送付

デジタルマーケティング事業の一環で，四半期ごとにレポートを作成し，送付した（計 4 件）。

エ SenTIA HP の改修

SenTIA 事業の効果的な発信を目的に，スマートフォン対応とするなど，デザイン等の改修を行った。

v. 首都圏案内所での情報発信

外国人観光案内所「TIC TOKYO」（東京駅日本橋口）において，仙台的観光案内パンフレットの配架，ポスター掲示及び毎月 1 回 SNS による日・英両言語の記事発信を行ったほか，東京都庁，新宿，浅草などの観光案内所においてもパンフレットを配架した。また，首都圏における情報発信拠点の状況調査を実施した。

6. 情報提供・交流促進に関する事業

情報提供や交流促進を担う各種施設を円滑に運営することにより，地域の観光の発展と国際交流・多文化共生の促進を図った。

(1) 観光情報施設の運営

国内外から来訪される観光客等を対象に，JR 仙台駅において市内や東北広域の観光情報の提供及び相談案内を実施した。

(利用実績)

	年間利用実績（4 月～3 月）※営業日数：365 日
日本人	83,476 名（前年度比 89.8%）
外国人	20,927 名（前年度比 108.3%）
計	104,403 名（前年度比 93.1%）

(2) 仙台多文化共生センターの運営

多文化共生社会の実現を目的として、外国人住民や地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供した。また、外国人住民からは、より専門的な知見を必要とする相談が多く寄せられ、「外国人による専門相談会」において、各専門機関の協力を得て相談支援を行った。

開館日数・相談対応日数：各 332 日 / 入場者数：10,905 人（前年度比 86.4%）

相談受付数：3,215 件（前年度比 89.0%） / 図書貸出数：165 冊（前年度比 46.1%）

i. 外国人住民への情報提供・相談対応

市民団体との協働により、外国人住民の生活に関する情報を収集・提供した。また、仙台出入国在留管理局、仙台弁護士会、東北税理士会、宮城県行政書士会、宮城労働局、仙台市起業支援センターと連携し、専門相談会を開催した。専門相談会実績：65 件。

ii. 行政窓口等におけるコミュニケーション支援

外国語相談員及び通訳サポート電話の活用及び行政窓口等にコミュニティ通訳サポーターを派遣し、外国人住民を支援した。

ア 外国語相談員（中、韓、ベトナム、ネパール）

イ 通訳サポート電話（英、中、韓、ベトナム、ネパール等 22 言語、実績：786 件）

ウ コミュニティ通訳サポーター 登録者数：65 名（20 言語）

派遣実績：135 件（小 53、中 26、区役所 13、保育園 10、幼稚園 4、こども園 3、高校 3 他）

iii. 国際活動に関わる団体の支援

多文化共生・国際交流・国際協力等の活動を行う団体の情報を収集・提供したほか、登録団体にに対して活動場所を提供し、事業の広報に協力した。団体登録数：142 団体

iv. 外国人観光案内所としての情報提供

195 件（日本人 138、外国人 56、外国人対応者 1）（前年度比 91.1%）

v. 『仙台生活便利帳（多言語版）』（仙台市発行）の編集

令和 7 年 3 月発行：計 5.7 千部（5 言語：英、中（簡）、韓、ベトナム、ネパール）

ウクライナ語版、ロシア語版、中国語（繁）版をウェブサイトで公開。

vi. 広報誌等発行

ア 広報誌『仙台多文化共生センターだより』（年 2 回発行）

日本語版 1.2 千部／回、英語版・中国語版・韓国語版各 700 部／回、
ベトナム語版・ネパール語版各 650 部／回を発行

イ 仙台多文化共生センターリーフレット

多言語併記（日、英、中（簡・繁）、韓、ベトナム、ネパール）4,000 部

ウ 「外国人のための専門相談会」

多言語併記（日、英、中（簡・繁）、韓、ベトナム、ネパール）

ポスター 400 枚／チラシ 5,000 枚

[収益事業]

1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便性向上のため、仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。

(1) 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

(利用実績)

	令和6年4月1日～令和7年3月31日
利用台数	23,481 台 (前年度比 103.4%)
利用金額	13,196,000 円(前年度 103.9%)

2. 物産・銘産品等販売事業

(1) 物産・銘産品等販売事業

① 観光案内所等における物品販売

るーぷる仙台一日乗車券販売手数料

販売収入	289,304 円
------	-----------

② 物産・名産品等販売事業

仙台で開催されるコンベンションや県内外で開催される催事・オンラインショップ等において、仙台の物産・銘産品を販売し、物産振興と販路拡大を図った。

i. 観光 PR 物品(るーぷる仙台チョコQ・観光名刺台紙)の製作・販売

るーぷる仙台チョコ Q の新色 (ミヤギノハギ) を制作し、令和6年10月4日より発売

品名	令和6年4月1日～令和7年3月31日
るーぷる仙台チョコQ	6,173,134 円(前年度比 165.7%)
名刺台紙	6,600 円(前年度比 70.5%)

ii. オンラインによる物産販売【重点】

オンラインショップ「伊達な銘品横丁」を活用し、仙台の工芸品や食品等のオンライン販売及び紹介を行うと共に、関係団体による仙台の物産品の販売機会の創出、認知度の向上を図った。他業種連携による「仙台名物こけし」や、オリジナル商品の「仙台弁こけしコースター」の販売も行い、新商品「支倉焼こけし」と「仙台弁こけしコースター (るーぷる仙台)」の商品開発も行った。

販売収入	1,833,453 円 (前年度比 183.8%)
------	---------------------------

iii. 物産品の催事販売

コンベンション会場等での販売

販売収入	826,068 円 (前年度比 83.1%)
------	------------------------